



各小学校がオーストラリアの学校と交流校を持ち、オンラインで海外交流

市内全ての小学校は、オーストラリアの小学校と定期的にオンラインで交流を行っています。お互いの文化や生活を紹介するなど、お互い顔の見える形で交流を行い、国際感覚を育んでいます。

Point オーストラリアから生徒が来日して交流

昨年度、オーストラリアから交流校の生徒が来日し、市内全ての小学校を訪問して、多くの児童と交流しました。今後も継続的に来日する予定で、交流を深めていく予定です。

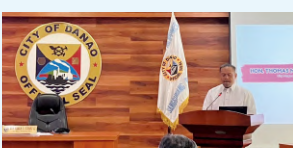


学んだ英語を試す貴重な機会

体験型英語学習として、小学生を対象に英語によるコミュニケーションの機会を提供しています。英語の楽しさや必要性を体感しながら、英語学習の意欲向上のきっかけづくりをしています。

Point 会話は全て英語。まるで海外にいるかのような特別な体験

本年度は、8月に東京グローバルゲートウェイで実施し、市内小学校の5・6年生38人が参加しました。施設内での会話は全て英語というグローバルな世界を体験しながら、ガイドの先生や友達と楽しく英語を学びました。



外国人講師とマンツーマンで英会話

中学生を対象に、日常使っているICT端末（パソコン）で、外国人講師と1対1で、1回30分の英会話授業を行います。英語でのコミュニケーション力の向上を目指します。

Point フィリピンのダナオ市と友好都市協定を締結

令和7年2月に、友好都市協定を締結しました。協定により、両市の交流の活発化、産業、観光等さまざまな分野での人的交流が行われます。特に教育分野では、ALTの派遣やオンライン英会話等の取り組みを進め、今後も安定的に英語教育を行う体制作りを進めていきます。



オーストラリアへ中学生を派遣

オーストラリアのメルボルンへ生徒を派遣し、異国の文化に触れ、国際感覚の醸成や国際社会への理解を深めることを目的に実施しています。※詳細は、p.4～

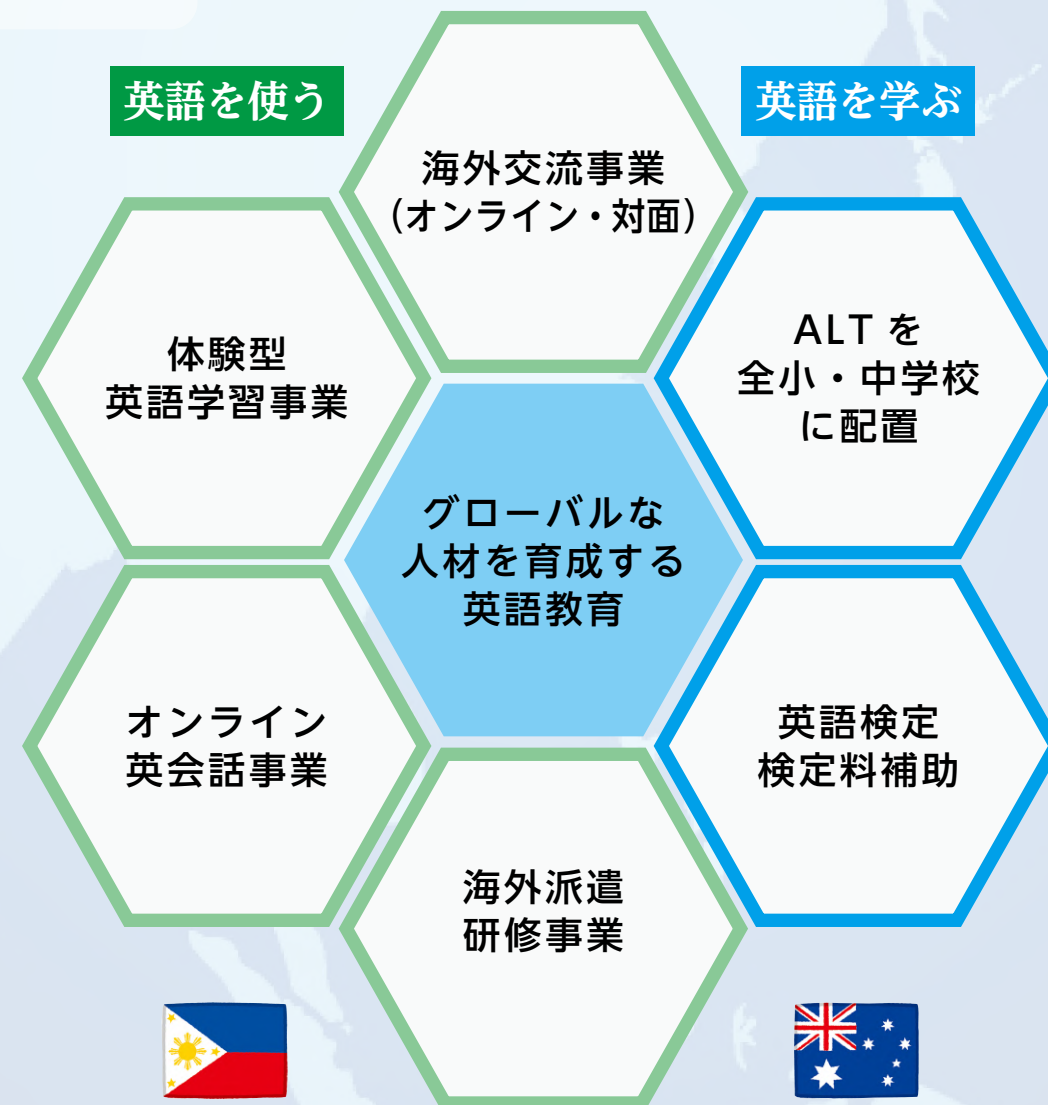
Point 最初の派遣は平成11年。これまでの派遣人数は464人

旧玉造町で始まり、社会情勢等により中断した期間もありましたが、これまでに多くの生徒が参加しました。

多文化共生という視野を持ち、国際社会の中で主体的に行動する人材を育成する

行方市の英語教育

本市では、郷土教育やICT教育と並び、英語（外国語）教育に力を入れています。英語教育では、単に言葉を学ぶだけではなく、外国の学校や文化との交流、ALT（外国語指導助手）を活用した事業等を実施することで、異文化を知り、国際社会でグローバルな視野を持ち、主体的に行動するために必要と考えられる資質・能力を育成します。本号では、他市にはない特色ある本市の英語教育関連の事業をご紹介します。



英語を使う

海外交流事業 (オンライン・対面)

体験型英語学習事業

オンライン英会話事業

海外派遣研修事業

英語を学ぶ

ALTを全小・中学校に配置

英語検定検定料補助

ALT（外国語指導助手）を全校に配置

市内全ての小・中学校にALTを配置しています。時間中は学校にいますので、学校生活で日常的に英語を聞いたり話したりする機会があります。※詳細は、p.6～

Point 各小学校に2人ずつ配置し、手厚い英語教育を。公立幼稚園にも派遣

県内の多くの自治体では、1校に1人が標準的ではありますが、本市では各小学校に2人ずつ配置することで、手厚い英語教育を行っています。また、ALTが月に1回公立幼稚園で英語の教室を行っています。



英検3級以上を受験する生徒に補助

英検（実用英語技能検定）の受験を奨励するため、年度内1回分の検定料の補助を行います。対象は、市内中学校に在籍または市内在住の中学生です。



Pick up topic

生徒の英語力向上を実感

茨城県の事業である「英語プレゼンテーションフォーラム」では、日ごろの英語学習の成果が発揮されました。この事業は「茨城の魅力アッププロジェクト～こんな茨城にしたい、住みたい、なってほしい～」をテーマに、各中学校が5人ずつのチームを作り、英語で発表し、その場で質疑応答するものです。各校とも練習を重ね、本市の全ての中学校が、鹿行地区大会に出場し、玉造中学校は鹿行地区の代表に選ばれました。市内の生徒たちの英語力の向上を実感しました。



Interview

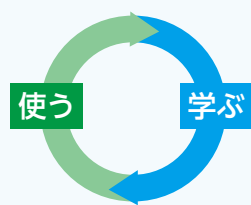
自分の思いや考えが伝わった時の感動を味わってほしい

本市では、英語教育に力を入れ、さまざまな取り組みを行っています。特に、市内全ての小学校に本年度からALTが2人ずつ配置されたことや、中学校では、年間10回程度のオンライン英会話を行うようになったことで、英語を使う機会が増え、英語発信力の向上につながっています。AIが進化し、翻訳機能を使えば簡単に外国人とコミュニケーションが取れる時代になっていますが、英語で自分の思いや考えを自分自身の言葉で相手に伝え、伝わったときの感動を、ぜひ多くの児童・生徒たちに味わってもらいたいです。



▲石蔵 直子 指導主事 (外国語教育担当)

バランス良く



良いサイクルを

小・中学校で、英語を身に付け、コミュニケーション力が向上することで、将来的に国際社会で主体的に行動できる人材を育成します。



◀現地の学生とのグループワーク。みんなも日本のことを学ぼうと、一生懸命に聞いてくれました。

SCHEDULE 研修スケジュール

期日	スケジュール
Day1	出発式・行方市発
Day2	オーストラリア着・市内見学
Day3	学校プログラム・ホームステイ
Day4	ホストファミリーと過ごす・ホームステイ
Day5	ホストファミリーと過ごす・ホームステイ
Day6	学校プログラム・ホームステイ
Day7	学校プログラム・ホームステイ
Day8	さよならパーティー・市内見学
Day9	オーストラリア発・行方市着

体験こそ、最大の学び

研修に参加した生徒たちは、期待と緊張の中で異国の地を踏み、日本とは異なる文化や生活を体験しました。英語で現地の人々の話を聞き、自分の思いを伝えることは、挑戦の連続であったことでしょう。また自己紹介をするにあたり、改めて日本や行方市のことを見つめ直す機会となったことと思います。

現地の人々との交流の中では、今持っている英語力を確かめることもできました。自ら挑戦し、友人と協力しながら過ごした時間は、大きな成長につながったはず。この経験を通して得た自信や広い視野は、これからの学びや生活に必ず生かされることでしょう。

グローバル化が進む現代社会の中、本市の生徒が異文化に触れ、国際社会に目を向けることで、郷土と社会の未来を切り拓いていくことが期待されます。

Interview インタビュー



研修に参加してみてどうでしたか？今後の抱負もどうぞ！



玉造中学校
さいとうりな
齋藤 里納さん

オーストラリアの文化に触れ、海外の方と交流できた経験は、自分の視野を広げるいい機会となりました。この学びを通じて、自身の英語力とコミュニケーションスキルをさらに伸ばしていきたいです。

学校生活

メルボルン市内の学校で、現地の学生たちと交流をしながら学校生活を体験しました。
ドロマーナカレッジ Dromana Secondary College



▲学校生活を一緒に過ごすパディと合流。



▲授業の合間に、ユニークな味で有名な「ベジマイト」を塗ったパンを実食。果たしてお味は…？



「ベジマイト」
天然麦芽酵母と野菜エキスを作られている発酵食品



▲現地の学生の受ける授業に参加！もちろん全て英語です。



▲校庭でランチタイム♪



▲教室の様子。先生の話真剣に聞いています。



▲パディは同じ学校に通う生徒で、毎日一緒に通いました。



▲ホストマザーが作ってくれたランチボックス。毎日お弁当を作ってくれました。

交流校にも訪問しました。
ドロマーナ小学校 Dromana Primary School



▲日本の箸を使ったゲームを企画し、現地の子どもたちに体験してもらいました。



◀一緒にプーメランづくりを体験して交流を深めました。



レッドヒル小学校 Red Hill Consolidated School



▲先住民の人々から伝わる伝統芸術「アボリジナルアート」を体験。

お別れ



▲出会いには別れが伴うもの。研修期間を共にしたパディと別れを惜しみ合いながら、再会の約束をしました。



▲最終日には、修了証が授与されました。

市内見学

メルボルン市内の施設を見学して歴史や文化を学びました。



▲移民都市、多国籍文化のまちとして有名なメルボルン。移住博物館で歴史と文化を学びました。



▲パッフィンブリー鉄道にて。研修に参加した15人で記念に1枚。



▲ヒールズビル自然公園では、オーストラリアに生息する動物を観察しました。



▲セントパトリック大聖堂。オーストラリア最大のゴシック建築は圧巻！



▲ヴィクトリア州立図書館にも訪問。世界で最も美しい図書館の一つと言われています。

ホームステイ

オーストラリアではどんな暮らしをしているの？メルボルン市内の方の家庭で衣食住の体験をしました。



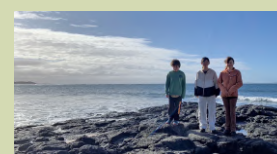
▲ホストマザーが出してくれたおやつでティータイム♪



▲週末に訪れた壁に描かれたグラフィティアートの前で。



▲週末はホストファミリーと市街地へお出かけ。みんなでアイスクリーム♪



◀近所の海までホストファミリーと。自分のこと、家族のこと、住んでいる地域のことを、たくさん話しました。

出発！



◀成田空港ではじめての出国手続き。夜出発の便で、いざメルボルンへ！

メルボルンってどんなまち？

■人口／5,350,705人(2024年)
■面積／9,992km²



メルボルンは、オーストラリア南東部にあるヴィクトリア州の州都です。過去には「世界一住みやすい街ランキング」で、7年連続で1位になったこともある世界的にも人気のある都市です。



REPORT

令和7年度 中学生海外派遣研修事業 in Melbourne, Australia

#中学生

#語学

#挑戦

#オーストラリア

#異文化

世界が舞台の9日間

6年ぶりの実施となった中学生海外派遣研修事業。8月20日(水)から28日(木)までの9日間、市内の中学生15人が、オーストラリアのメルボルンでの研修に参加しました。

この事業は、未来を担う行方市の中学生を海外に派遣し、語学研修およびその国の文化、風俗、習慣等に触れ、国際感覚を養うとともに、広い視野から郷土および国家・国際社会に対する理解を深めることを目的に実施しているものです。

旧玉造町時代の平成11年度から始まり、今回で20回目を迎えました。どのような研修であったのか、参加した生徒たちの体験や学びをお届けします。

Interview インタビュー



なぜこの研修に参加することにしたのですか？参加する意気込みをどうぞ！



麻生中学校
ひらつかみなと
平塚 全さん

過去に研修に参加した方からの話を聞き、オーストラリアの文化や自然に興味湧きました。正確な英語が話せなくても、自分の力で伝える工夫をしながら、現地の方々とたくさん交流したいです。



ALMm Nn Oo Pp Qq Rr Ss
3:00 Cloudy Tuesday 火曜日

Ventura, Melvin Torres

自信を持って
英語で話しかけてくる時が
何よりの喜びです

ヴェントウラ、メルヴィン トーレス (メルヴィン先生)
フィリピン出身。Far Eastern University 卒業。数学・コンピューターサイエンスを専攻。前職は、日系マーケティング会社に勤務。趣味は、読書・映画鑑賞・ガーデニング・料理など。2007 年に来日し、2009 年から行方市で ALT として勤務。現在は、麻生東小学校に勤務。

I don't like this. I like that.

yellow green pink black

これから学び続けて自分も成長したい

この仕事をしていて、生徒たちが英語に挑戦し、自信を持って話そうとする姿を見ることが何よりの喜びです。生徒たちの成長を見ながら、私自身も常に向上心を持って学び続けて、より良い自分になるように努力して成長していきたいですね。

ALT Interview

さまざまな出会いがきっかけで
大学を卒業後、フィリピンにある日系マーケティング会社で働き始めました。その会社で、東京で働く機会があり、日本にきました。その後、英会話教室を経営する日本人女性と出会い、その女性から紹介されたことがきっかけで、ALT として働くようになりました。最初は、中学校 1 校と小学校 2 校を担当しました。

想像もしていなかったが、今では夢中に
幼い頃から数学と理科が大好きで、夢は数学の教師になることでした。日本で英語を教えることになるなんて、想像もしていませんでした。当初は、ALT に関する知識も経験も全くない状態でスタートしましたが、私自身も英語を勉強し、教えることに挑戦していくうちに、どんどん夢中になっていきました。



Olive Harisco Valle

生徒が努力を重ねて
成長する姿を見ることが
私の楽しみです

オリーブ ハリスコ バリエ (オリーブ先生)
フィリピン出身。University of perpetual Help, Olivarez college 卒業。理学療法と看護学を専攻。前職は、ICU (集中治療室) の看護師。趣味は、旅行・音楽鑑賞・DIY など。2008 年に来日し、2011 年から行方市で ALT として勤務。現在は、麻生中学校に勤務。

生徒たちがベストを尽くせるように

生徒たちは、一生懸命に英語の授業に取り組んでいます。英語力を上げるためにも、どんどん英語で話しかけてきてほしいと思います。私は生徒がベストを尽くせるように促し、失敗しても努力を怠らず、努力し続けることが大切だと、励ましていきたいと思っています。

ALT Interview

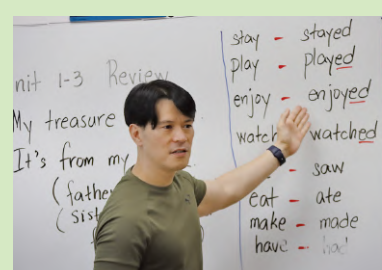
小さい頃に憧れたアニメの国へ
小学生の頃、日本のアニメが好きで放課後に夢中で見ていました。そして大好きなアニメキャラクターに会いに、いつか日本に行きたいと思っていました。

大学卒業後、フィリピンで集中治療室の看護師として働いていました。日本で看護師になりたいと思っていたのですが、資格取得が難しく悩んでいました。そんな時、ALT のオファーをもたらしたことがきっかけで働き始めました。

熱意は生徒の人生に良い影響を
ALT になりたいと思っていた訳ではないので、当初は戸惑いもたくさんありました。しかし、生徒たちが学びながら成長していく姿を見ているうちに、とてもやりがいのある仕事だと思いました。一日として同じ日はなく、生徒たちにはいつも驚かされます。そして、私自身の熱意と伝え方で生徒たちの人生に良い影響を与えることができたと気づきました。自分も時代に合った教え方を学びながら、生徒をサポートしていきたいと思っています。

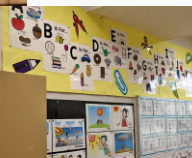
日本の好きなところは？

日本人の優しさが大好きです。特に、行方市の人たちはとても親切で、誰もおもてなしの心を持っています。とても住み心地がいい場所なので、行方市にずっと住んでいます。



日本の英語教育についてどう思う？

英語を学ぶ時間をもっと増やした方がいいと思います。英語は誰でも習得できるスキルです。できる限り長い時間、英語に触れて、たくさん使ってほしいと思います。

生徒たちにどう成長してほしい？

生徒たちからは、英語学習への熱意と意欲を感じます。外国人と話すことを恐れずに、覚えた英語を使ってどんどん挑戦してほしいです。そして、日常生活レベルのコミュニケーション能力を身に付け、自信を持って英語が話せるようになってほしいと思います。



日本の好きなところは？

日本人の優しさや思いやりには、いつも感動します。世界で最も親切な人たちだと思います。あとは日本食です。非常に健康的で、料理には愛情と敬意が込められていて、どの料理も大好きです。その他、伝統文化や安全・安心、清潔さなど、日本は世界に誇れるところがたくさんあり、全てが大好きです。



日本の英語教育についてどう思う？

実生活でのコミュニケーションよりも、文法力や試験対策を重視しているように思います。また英語を使う機会が限られているため、実際に英語を聞き、話す力を養うことが難しいと思います。英語の授業は、全て英語で行われるといいと思います。



生徒たちにどう成長してほしい？

学んだ英語を生かして、友達や家族となるべく英語で話すように心がけ、英語をどんどん使ってほしいです。また、リスニング力を向上させるために、英語番組を視聴するなど、もっと英語に触れる時間を増やして、英語力を上げてほしいです。



行方市の ALT

「ALT」とは？
Assistant Language Teacher の略。
外国語指導助手と呼ばれている。



Nice!

Let's Enjoy English!

11 人の個性豊かな ALT が、皆さんを全力でサポートします！

私たちと一緒に、楽しく英語を学びましょう！